

しよめい	ちよしや	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
バーナムの骨 ～ティラノサウルスを発見した 化石ハンターの物語～	トレイシー・E・ファーン／文 ボリス・クリコフ／絵	光村教育図書	エホン ク	バーナムは子どものころから化石を発見するのが得意でした。それは大人になっても変わらず、バーナムの熱意を感じたアメリカ自然史博物館の館長、オズボーン教授はバーナムに「世界一のコレクションをわが館に」と化石発掘を依頼しました。バーナムが死去した時、同館所有の恐竜の化石コレクションは世界最大規模になっていました。
鳥に魅せられた少年 —鳥類研究家オーデュボンの物語	ジャックリーン・デビース／文 メリッサ・スウィート／さし絵	小峰書店	エホン ス	このお話の主人公はアメリカの画家ジョン・ジェームズ・オーデュボンです。ジェームズは、鳥の観察が大好きな少年でした。ある日少年は、秋に旅立った小鳥が、春にもとの場所にもどってくるかどうか調べようと思いました。小鳥の足にひもを結びつける計画です。幼いころ、お父さんが話していたように小鳥はもどってくるのでしょうか。
グーテンベルクのふしぎな機械	ジェームズ・ランフォード／作 千葉 茂樹／訳	あすなろ書房	749	君たちが持っている本は、同じものがたくさんあります。どの本も印刷されていますね。印刷という技術が発明される前は、人が一字一字書き写していました。印刷技術を発明したのが、ドイツのグーテンベルクです。1450年頃のことです。印刷に必要な紙やインク、活字の作り方など、当時の様子がくわしく書かれています。
戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ ～作者レイ夫妻の長い旅	ルイーザ・ボーデン／文 アラン・ドラモンド／絵	岩波書店	930	ヒットラーの兵隊が、フランスの首都パリに向かって急速に進行しているとき、レイ夫妻はパリに住んでいました。ふたりはドイツ生まれのユダヤ人なのです。いそいでパリをでなければいけません。身のまわりのものや、大事な原稿や絵を自転車のかごにいれて、一生でいちばんの大きな冒険が、今はじまろうとしていました。
いのちあふれる海へ —海洋学者 シルビア アール	クレア・A・ニヴォラ／さく おびか ゆうこ／訳	福音館書店	エホン ニ	シルビアは生き物や、植物を観察することが大好きでした。12歳で海のそばに引っ越し、海の中を観察することに心をうばわれます。本にのっている深海についてのことがらも、いつか自分の目で確かめたいと、あらゆる方法で海に潜る体験をします。豊かで神秘的な海をもっと知りたい。本気で海を心配することがうつくしい海を守ることにつながると考えるシルビア。シルビアは、海中でどんな体験をしたのでしょうか。この本を読むとあなたも海中にもぐった気持ちになれるかも。
ラファエロ ～天使に愛された画家	ニコラ・チンクエッティ／文 ビンバ・ランドマン／絵	西村書店	723	宮廷画家を父にもつラファエロは、幼い時からお父さんのにしました。また、遠い国の画家のみごとな絵画にふれさせ技法について教えてくれました。お母さんとお父さんが亡くなってから、ラファエロの修行の旅がはじまります。
つぼつくりのデイヴ	レイバン・キャリック・ヒル／文 ブライアン・コリアー／絵	光村教育図書	エホン コ	今から200年ほど前のアメリカ社会では奴隷の表現活動は、才能を認めてもらえないばかりか、死に結びつく可能性もありました。そんな中、デイヴはつぼをつくり続けました。デイヴはつぼがすっかり固まる前に細い枝で文字を書きました。自分が生きていたことを伝えるためです。デイヴが書いた言葉は少し変わった詩のようです。
マザーテレサの冒険	ジャン・パオロ・チェゼラーニ／文 ビエロ・ベントウーラ／絵	女子パウロ会	198	12歳で修道女になる希望をいだいたマザーテレサは、生まれ故郷をはなれ18歳でついに修道女になり、インドにわたります。新しい修道会をつくり、神の愛で貧しい人々を救おうと活動します。たった一人の小柄な女性が貧しい人々のためにどれほど多くのことを成し遂げたか。そしてマザーテレサに賛同する人たちが世界中で活動をひろめます。まさに神の愛です。
グレゴール・メンデル ～エンドウを育てた修道士	シェリル・バードー／文 ジョス・A・スミス／絵	BL出版	289	チェコの小さな村に生まれたメンデルは、小さいころから「知りたい」という気持ちがとても強い子でした。自分で生活費をかきながら学校に通い、修道士になると、ひたすら研究を続け、エンドウを育てて実験をくり返します。メンデルの自然のなぞをいつかときたいという気持ちが、大きな発見へとつながります。遺伝の法則を発見した科学者の物語です。
かべ —鉄のカーテンのむこうに育って—	ピーター・シス／作 福本 友美子／訳	BL出版	エホン シ	作者のシスは、「冷戦」とよばれる資本主義と共産主義が対立していた時代のチェコスロバキアに生まれて育ちました。シスは絵がすきでした。家ではすきなものをかきましたが、学校では、かきなさい、といわれたものをかきました。きびしい支配のもとでの生活や気持ちがえがかれた絵本です。